＜環境省ニュース＞

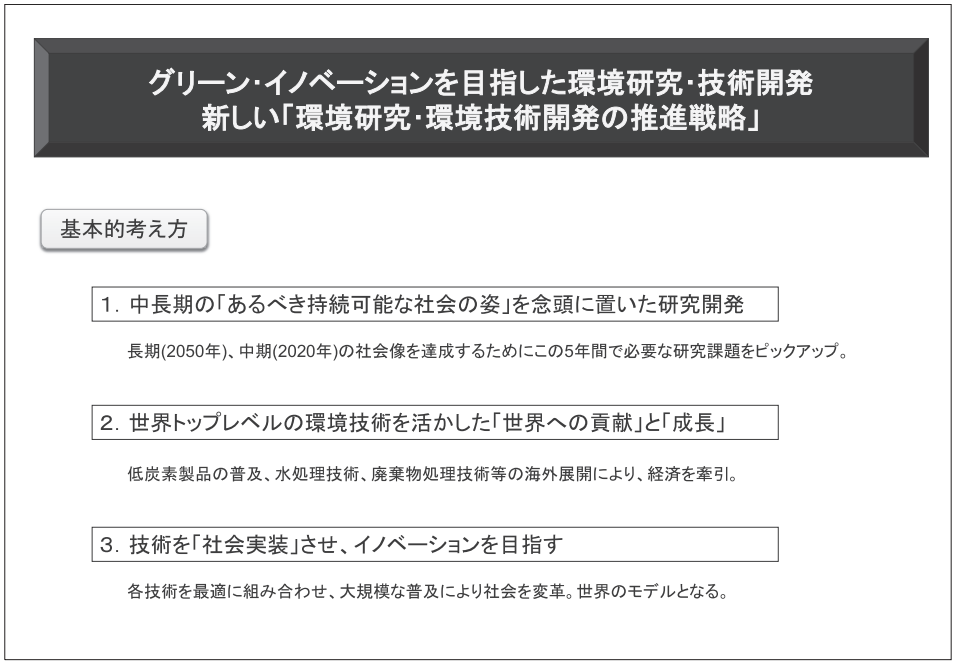
環境研究・環境技術開発の推進戦略について

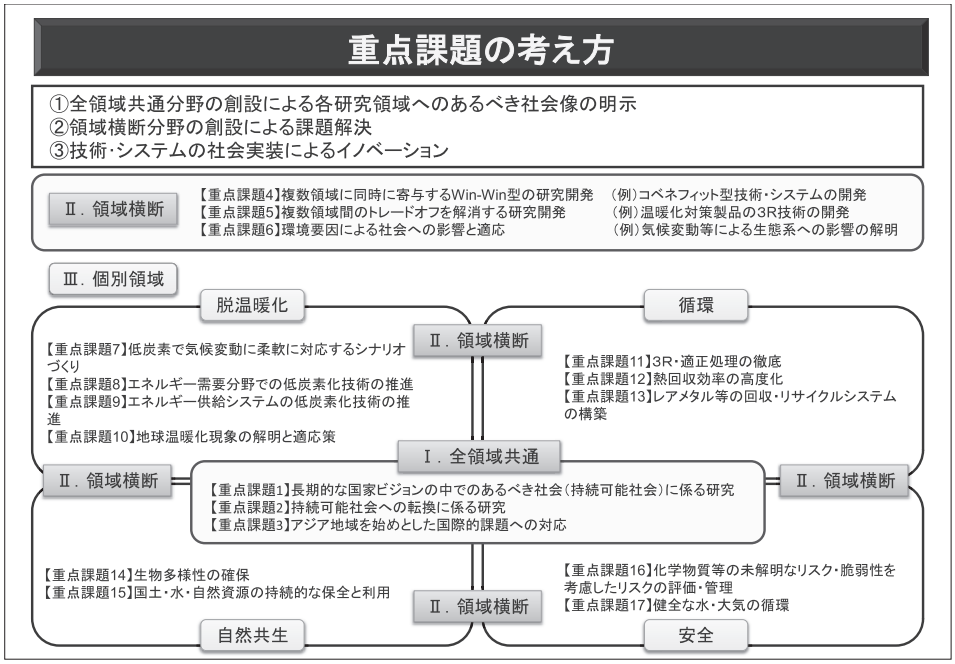
環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室

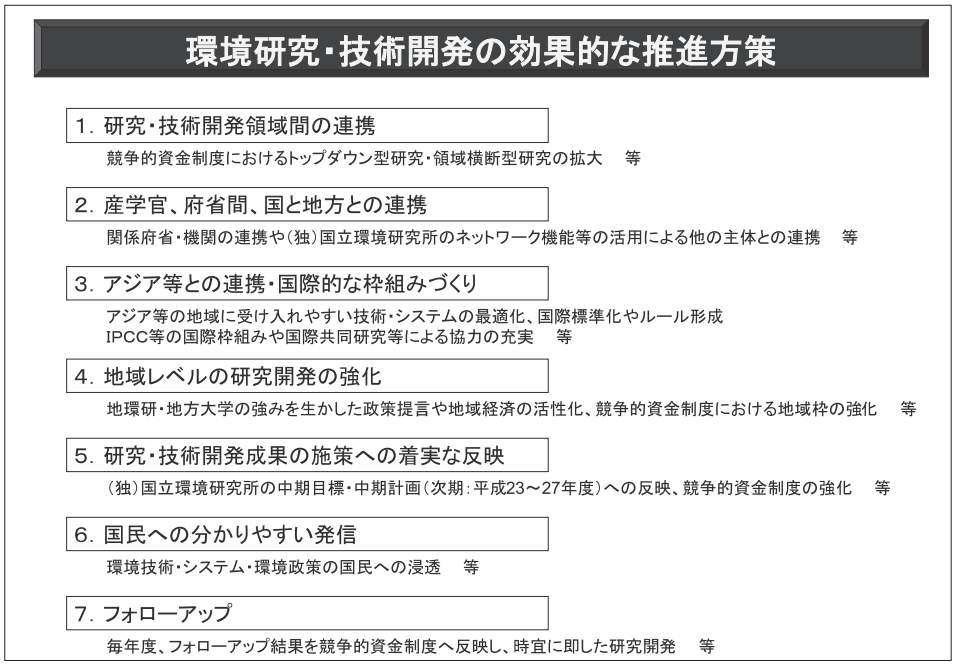
環境分野の研究および技術開発は，直面するさまざまな環境問題の解決に向け，「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」（平成18年３月中央環境審議会答申）に沿って進められてきたが，昨今，気候変動問題への対応等，持続可能な社会の構築に向けて日本の環境研究および環境技術開発が果たすべき役割は一層大きくなっており，取り組むべき研究および技術開発の重点化等を図りながら，より効果的に推進することが必要となっている。

このため，平成21年12月，環境研究および環境技術開発を効果的に推進するための新たな戦略はいかにあるべきか，環境大臣より諮問を行い，中央環境審議会総合政策部会環境研究・技術開発推進戦略専門委員会(委員長：安井至　独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長)において審議がなされ，平成22年６月，「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」として中央環境審議会から環境大臣に対して答申がなされたところである。

答申の趣旨を踏まえ，環境省は，環境分野の研究および技術開発を一層推進していく所存である。以下に，答申の概要を掲載する。







答申については，環境省ウェブサイトに掲載しているものを参照されたい。
（本文）http://www.env.go.jp/policy/tech/kaihatsu/t02_h2202a.pdf
（別冊）http://www.env.go.jp/policy/tech/kaihatsu/t02_h2202b.pdf

環境研究・環境技術開発の推進戦略における重点課題一覧

領域	重点課題	重点課題サブテーマ
Ⅰ．全領域共通	【重点課題１】長期的な国家ビジョンの中でのあるべき社会(持続可能社会)に係る研究	①長期的視点での、我が国の状況に対応した、社会・国土のあり方
		②人間社会の持続に必要な地球全体の資源等の容量の把握、地球空間
	【重点課題２】持続可能社会への転換に係る研究	①経済的評価を踏まえた持続可能社会への転換方策にかかる総合的研究
		②幸福度、価値観の転換に関する研究
		③環境教育・コミュニケーション・合意形成のあり方の研究
Ⅱ．領域横断	【重点課題３】アジア地域を始めとした国際的課題への対応	①低炭素社会移行シナリオ・適応策に関する研究
		②気候変動等に関する国際政策のあり方に関する研究
	【重点課題４】複数領域に同時に寄与するWin−Win型の研究開発	①コベネフィット型技術・システムの展開
		②廃棄物等からのエネルギー回収
	【重点課題５】複数領域間のトレードオフを解消する研究開発	①自然環境や安全に配慮した再生可能エネルギー技術の開発
		②温暖化対策製品の３Ｒ技術の開発
	【重点課題６】環境要因による社会への影響と適応	①気候変動等による生態系への影響の解明
		②越境汚染の解明・対策
Ⅲ．個別領域 １．脱温暖化社会	【重点課題７】低炭素で気候変動に柔軟に対応するシナリオづくり	①低炭素型かつ安全で快適な地域づくりに係る総合的な研究・開発
		②農山漁村地域の機能活用
		③低炭素型のライフスタイル・ワークスタイルの提案
		④気候変動への適応と安全で暮らしやすい地域づくりのコベネフィット
	【重点課題８】エネルギー需要分野での低炭素化技術の推進	①日々の生活における省エネを促進する技術・システムの開発
		②ものづくりの低炭素化、高付加価値化
		③低炭素型都市・地域づくりのための交通及び社会インフラの効率化
		④要素技術を社会実装するための最適パッケージ・システム化の評価・検討
	【重点課題９】エネルギー供給システムの低炭素化技術の推進	①要素技術(再生可能エネルギー技術及び既存エネルギー高度化技術)の低コスト化・高効率化・システム化
		②要素技術を社会実装するための最適パッケージ・システム化の評価・検討
	【重点課題10】地球温暖化現象の解明と適応策	①モニタリングの精緻化と利用の促進
		②気候変動予測の高度化
		③気候変動への適応と安全で暮らしやすい地域づくりのコベネフィット(再掲(【重点課題７】④))

環境研究・環境技術開発の推進戦略における重点課題一覧

領域	重点課題	重点課題サブテーマ
2．循環型社会	【重点課題11】3R・適正処理の徹底	①3R配慮製品が普及する社会づくり
		②リサイクル、回収技術の強化
		③有害廃棄物対策と適正処理
		④循環型社会システムづくりの研究
	【重点課題12】熱回収効率の高度化	①熱回収を推進できる社会づくり
	【重点課題13】レアメタル等の回収・リサイクルシステムの構築	①廃棄物からのレアメタル回収技術開発
3．自然共生型社会	【重点課題14】生物多様性の確保	①生態系の現状・変化状況の解明とポスト2010年目標の実現に向けた地球規模での生物多様性の観測・評価・予測
		②絶滅危惧種の保全・増殖に係る統合手法の開発
		③外来種等の防除システムの構築
		④遺伝資源へのアクセスと利益配分に関する研究
	【重点課題15】国土・水・自然資源の持続的な保全と利用	①生態系サービスの恩恵の解明
		②里地・里山・里海等二次的自然の保全
		③都市と農山漁村の有機的な連携の構築
		④健全な水循環システムの構築
		⑤海岸漂着物対策
4．安全が確保される社会	【重点課題16】化学物質等の未解明なリスク・脆弱性を考慮したリスクの評価・管理	①子どもの健康に影響を与える環境要因の解明
		②化学物質等に対する感受性の違いを考慮したリスク管理
		③化学物質のリスク評価手法の高度化
		④ナノ材料等の環境リスクの評価、低減手法の開発
	【重点課題17】健全な水・大気の循環	①健全な水循環システムの構築(再掲(【重点課題15】④))
		②環境計測・分析・汚染対策技術の強化・最適化
		③PM2.5等大気汚染物質のリスクに関する研究

「Ⅱ．領域横断」に掲げた重点課題サブテーマ及び研究開発例は、いずれの領域においてもウェートの大きいものを代表的に掲げており、「Ⅲ．個別領域」の各領域に掲げたものについては、あくまで当該領域が中心になって進めるべきという考えに基づく整理であり、他の分野との横断的な取組を否定したものではない。